



## うるま市の文化財 シリーズ③

### 勝連城跡



15世紀に活躍した阿麻和利の居城。勝連半島の西側の丘陵にあり、自然の地形を巧みに生かして築城された城です。石積みの城壁が優雅で美しく、最も高い一の曲輪に登ると、中城湾や金武湾、その中に浮かぶ島々など太平洋が一望できます。平成12年12月に「琉球王国のグスク及び関連遺産群」の一つとして、世界遺産に登録されています。

### 安慶名城跡



字安慶名にある国指定の史跡です。城の北側を流れる天願川が別名「大川」と呼ぶことから、別名大川グスクとも呼ばれています。城の形態は、外側と内側に二重の石垣を巡らす、県内では珍しい輪郭式のグスクです。伝承では14世紀頃、安慶名大川按司によって築城されたと言われ、自然の断崖と急傾斜を巧みに利用した山城です。

文化課 ☎978-7245

## 羽ばたけ!! スポーツ少年団



野球

### 赤道中央タイガース

赤道中央タイガースは、6年生6名、5年生11名、4年生11名、3年生5名、2年生7名、計40名の子どもたちが、久田監督、村田、小谷両コーチの指導の下、日々の練習に励んでいます。

チームの合言葉は「全員野球」。チームのTシャツにも入っています。日頃の練習では、大きな声がでて元気な子どもたちですが、大会になると緊張から声小さくなります。

これまで、大会での目立った活躍はなく、1回戦を勝ち抜くのがやっとのチームですが、子どもたちは一戦一戦、一生懸命、試合に臨んでいます。もちろん、どの大会でも目標は優勝することです。

監督や父母は、野球というスポーツを通して、全員で頑張ることの大切さを学び、今後の人生に生かして欲しいと願い、子どもたちの成長を見守っています。



野球

### 川崎タイガース

川崎タイガースは、地域とともに40余年の歴史を歩んできました。現在、会場監督やコーチの指導のもと、野球の技術向上はもちろん、地域の行事等にも積極的に参加し、地域に愛されるチームづくりを励んでいます。

少人数のチームのため、4年生からレギュラーとして試合に挑みます。まさにチームの総力をあげての戦いです。そのせいか、学年問わず仲が良く、休みの日でも皆一緒に遊んでいます。

これまでの大会では、1回戦負けが続いていましたが、8月のうるま市長杯で、見事勝利し2回戦に進むことができました。選手はもちろん、父母もまるで優勝したかのように喜んでいました。強いチームではなく、良いチームで在り続けたいと考えています。

監督や父母は野球を通して、感謝の心や仲間を思いやる心など、いろいろなことを学び、元気で明るく、健康に育ってほしいと子どもたちの成長を見守っています。